

全業種・全規模で主要3項目すべて改善

2期連続改善も依然として厳しい状況が続く

<調査機関> 北九州商工会議所

<調査期間> 令和2年11月24日～12月11日

〔参考〕調査開始日(11/24)の株価及び外国為替市況

日経平均株価終値 26,165円59銭、東京外国為替市場対ドル円相場終値 104円45銭

<回答数> 485社(製造業104社・非製造業381社)

<調査方法> 郵送・メール・ヒアリングによるアンケート調査方式



本件に関するお問い合わせは、

北九州商工会議所 産業振興課 (TEL:541-0185)

< 概況 >

◆【主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)】

主要3項目すべて大幅に改善するも依然としてマイナス水準。経常利益は20ポイント改善。次期は主要3項目すべてやや悪化を予測。

◆【業種別】

すべての業種で主要3項目すべて改善。次期はサービス業を除き、「売上高」「経常利益」とともに悪化を予測。

◆【規模別】

すべての規模で主要3項目すべて改善。次期は大規模企業が主要3項目すべて悪化を予測。

※DI(景気動向指数:Diffusion Index)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。

(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移と判断する。

※文章中の規模は中小企業基本法に基づく

(大規模→大企業、中規模→中小企業、小規模→小規模企業者)

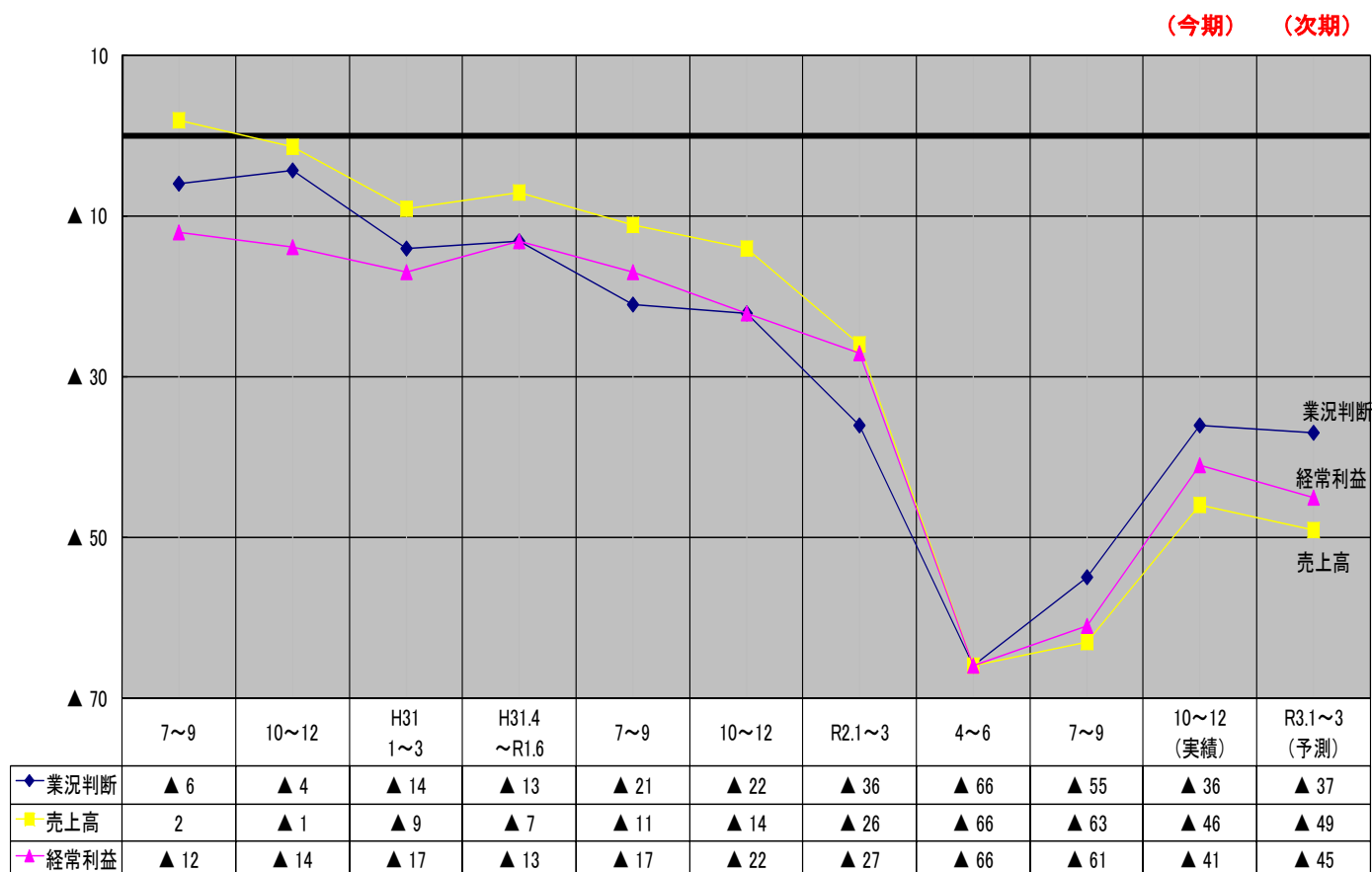
主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向

<今期実績> (10-12月期)

・主要3項目すべて大幅に改善するも依然としてマイナス水準。経常利益は20ポイント改善。

<次期予測> (1-3月期)

・主要3項目すべて悪化を予測。引き続き大幅なマイナス水準。



	9月調査時の 10~12月期予測	10~12月期実績
業況判断	▲49	▲36
売上高	▲58	▲46
経常利益	▲60	▲41

業種別

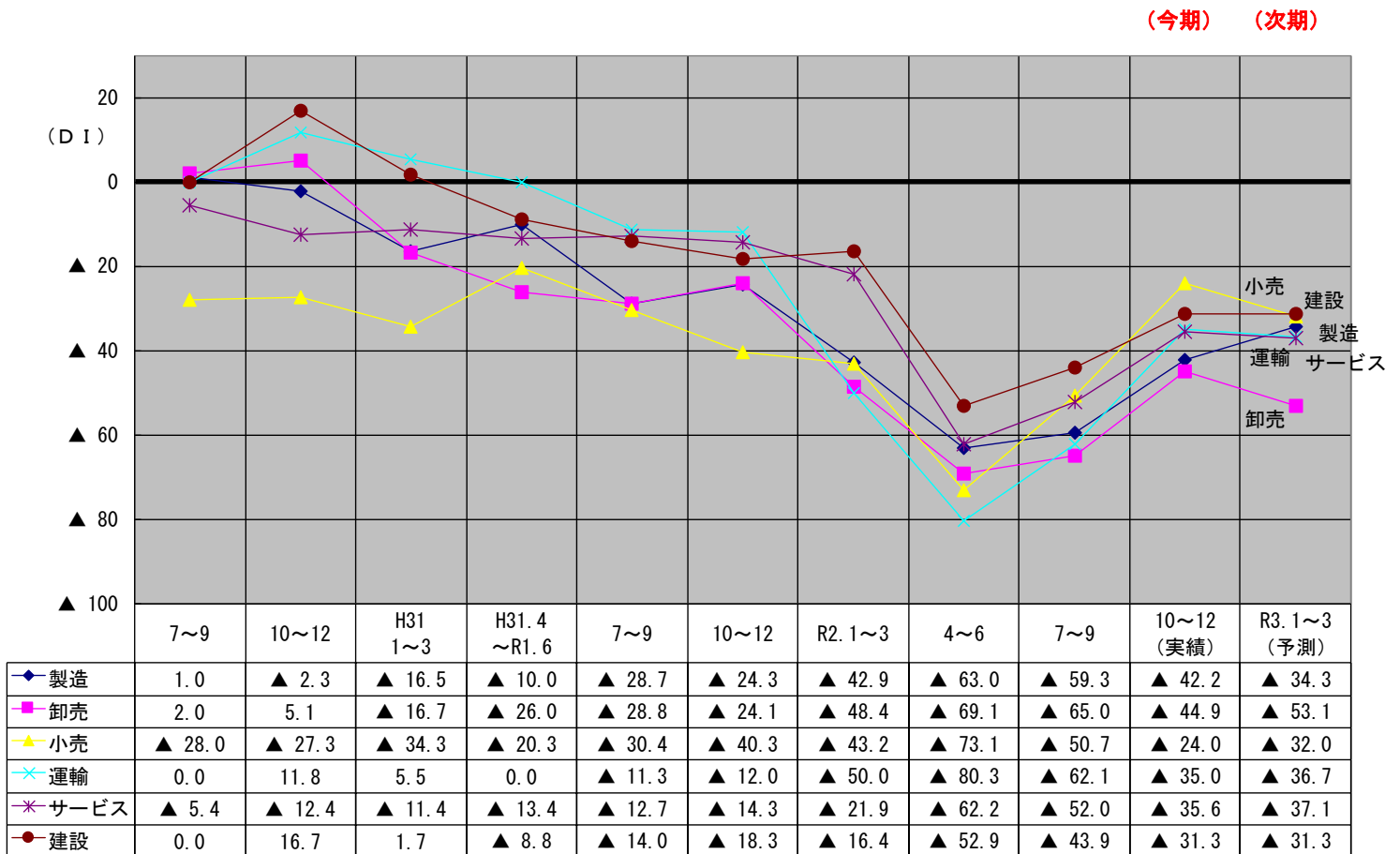
業況判断DI

<今期実績> (10-12月期)

・すべての業種で改善。運輸業は 27.1 ポイント、小売業は 26.7 ポイント、卸売業は 20.1 ポイントそれぞれ改善。

<次期予測> (1-3月期)

・製造業と建設業を除き悪化を予測。引き続きすべての業種で大幅なマイナス水準。



	9月調査時の 10~12月期予測	10~12月期実績
製造	▲ 47.8	▲ 42.2
卸売	▲ 61.7	▲ 44.9
小売	▲ 46.5	▲ 24.0
運輸	▲ 56.9	▲ 35.0
サービス	▲ 48.0	▲ 35.6
建設	▲ 40.9	▲ 31.3

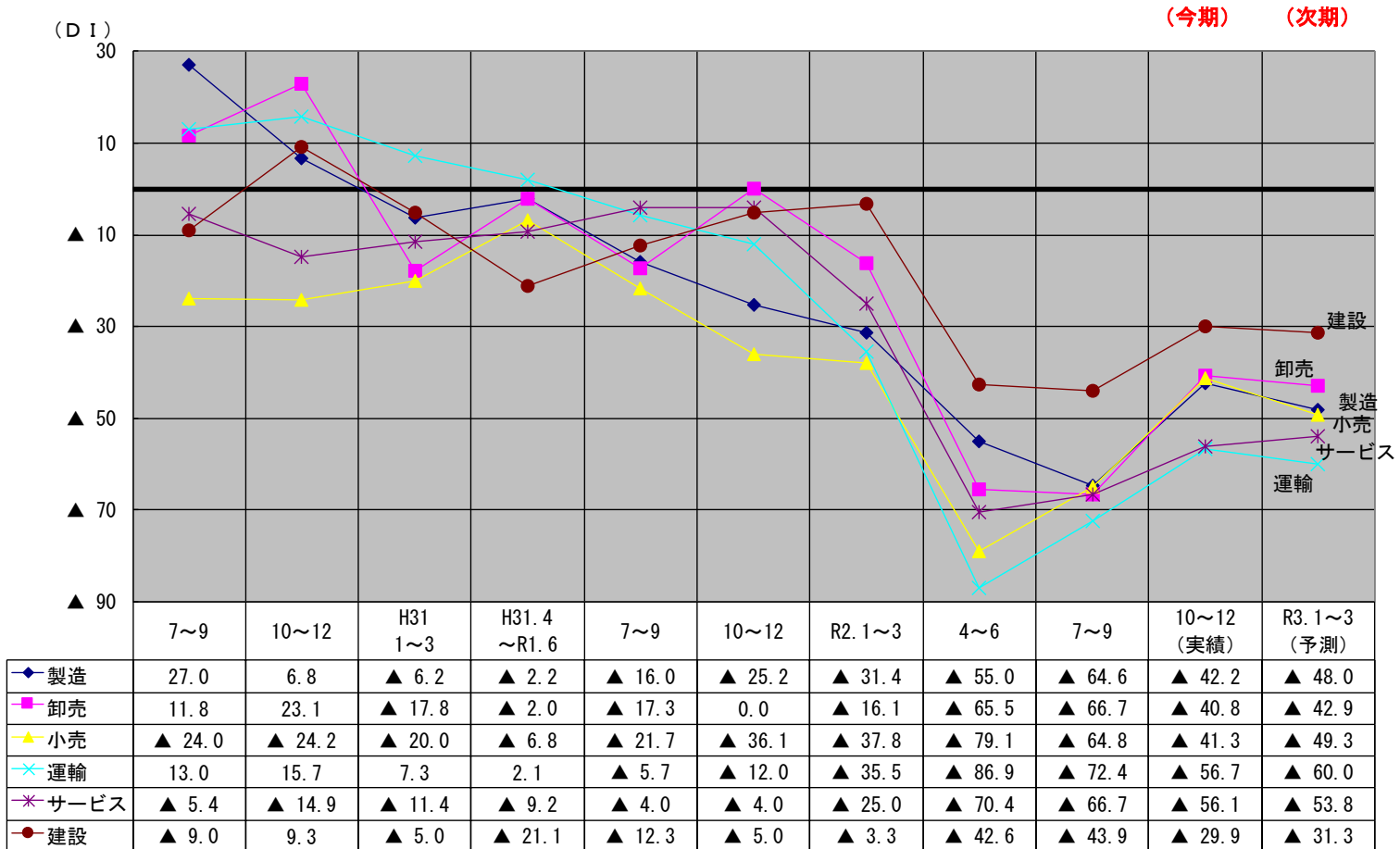
売上高DI

<今期実績> (10-12 月期)

・すべての業種で改善。卸売業は 25.9 ポイント、小売業は 23.5 ポイント、製造業は 22.4 ポイント改善。

<次期予測> (1-3 月期)

・サービス業を除いて悪化を予測。引き続きすべての業種で大幅なマイナス水準。



	9 月調査時の 10~12 月期予測	10~12 月期実績
製造	▲ 55.8	▲ 42.2
卸売	▲ 63.3	▲ 40.8
小売	▲ 59.2	▲ 41.3
運輸	▲ 74.1	▲ 56.7
サービス	▲ 58.0	▲ 56.1
建設	▲ 39.4	▲ 29.9

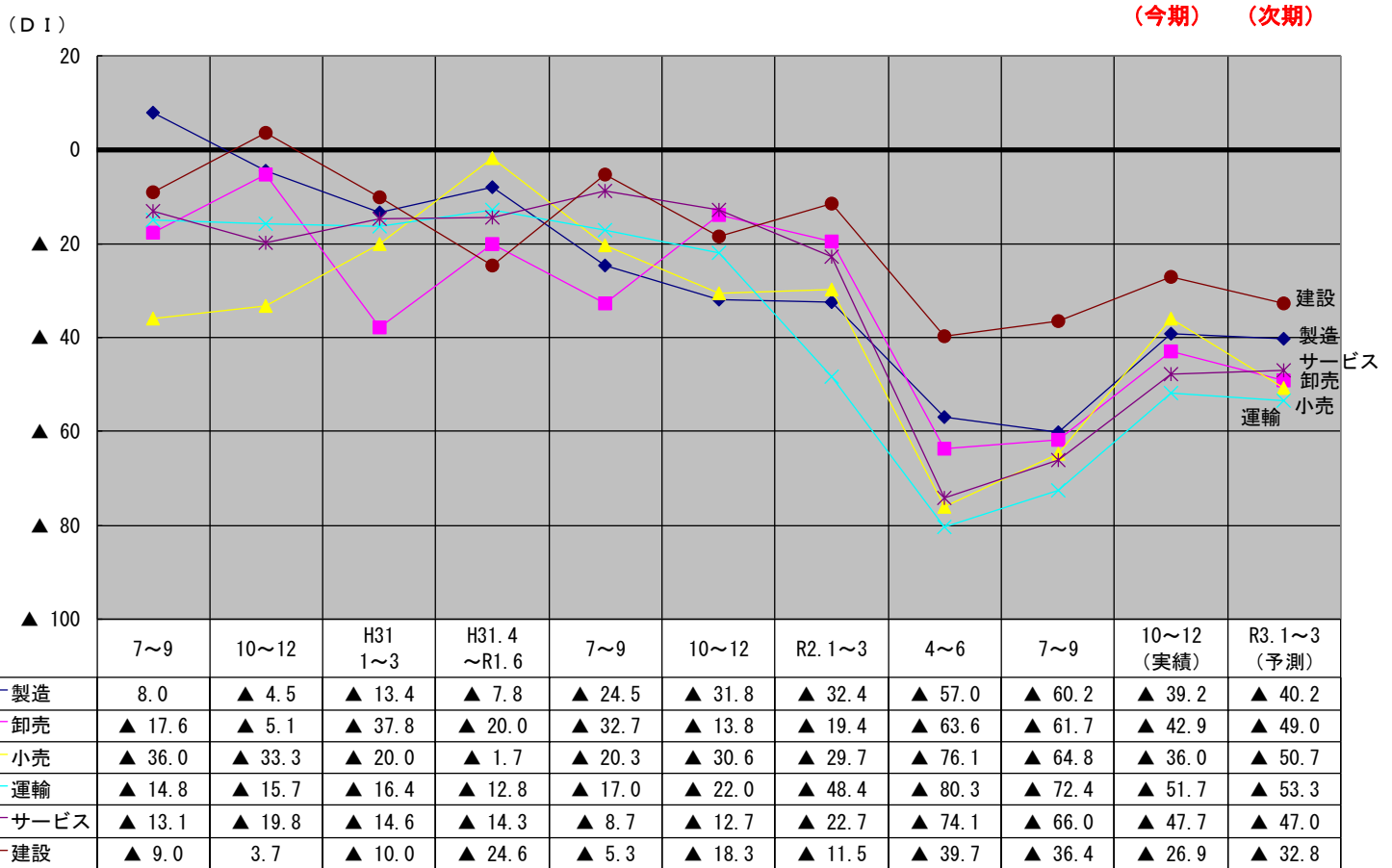
経常利益DI

<今期実績> (10-12 月期)

・すべての業種で改善。小売業は 28.8 ポイント、製造業は 21.0 ポイント、運輸業は 20.7 ポイント改善。

<次期予測> (1-3 月期)

・サービス業を除いて悪化を予測。引き続きすべての業種で大幅なマイナス水準。



	9 月調査時の 10~12 月期予測	10~12 月期実績
製造	▲ 57.5	▲ 39.2
卸売	▲ 61.7	▲ 42.9
小売	▲ 64.8	▲ 36.0
運輸	▲ 75.9	▲ 51.7
サービス	▲ 58.7	▲ 47.7
建設	▲ 45.5	▲ 26.9

— 規 模 別 —

業況判断DI

<今期実績> (10-12 月期)

・すべての規模で改善。大規模企業と小規模企業は 20 ポイント以上改善。

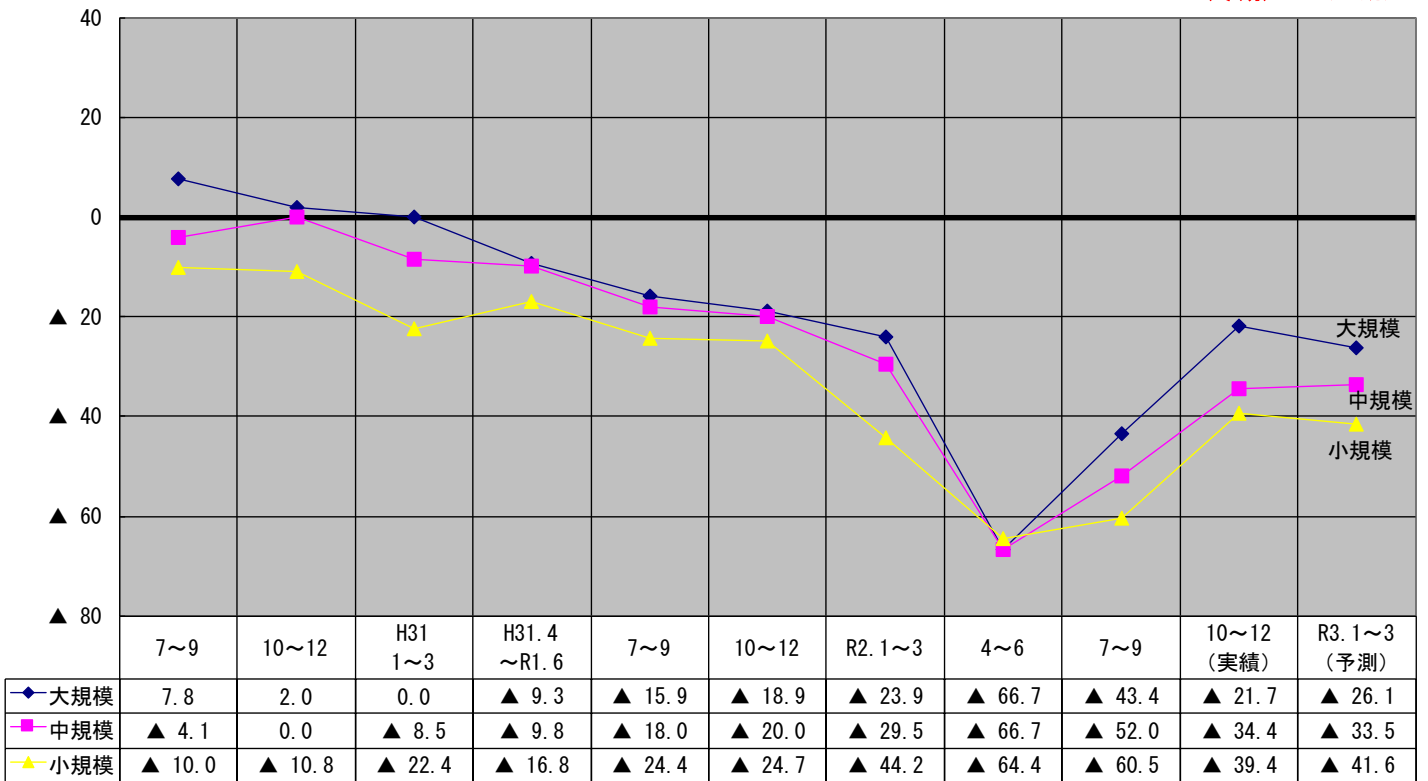
<次期予測> (1-3 月期)

・中規模企業は横ばい、大規模企業と小規模企業は悪化を予測。

引き続きすべての規模で大幅なマイナス水準。

(DI)

(今期) (次期)



	9月調査時の 10~12 月期予測	10~12 月期実績
大規模	▲ 37.7	▲ 21.7
中規模	▲ 45.4	▲ 34.4
小規模	▲ 55.9	▲ 39.4

売上高DI

<今期実績> (10-12 月期)

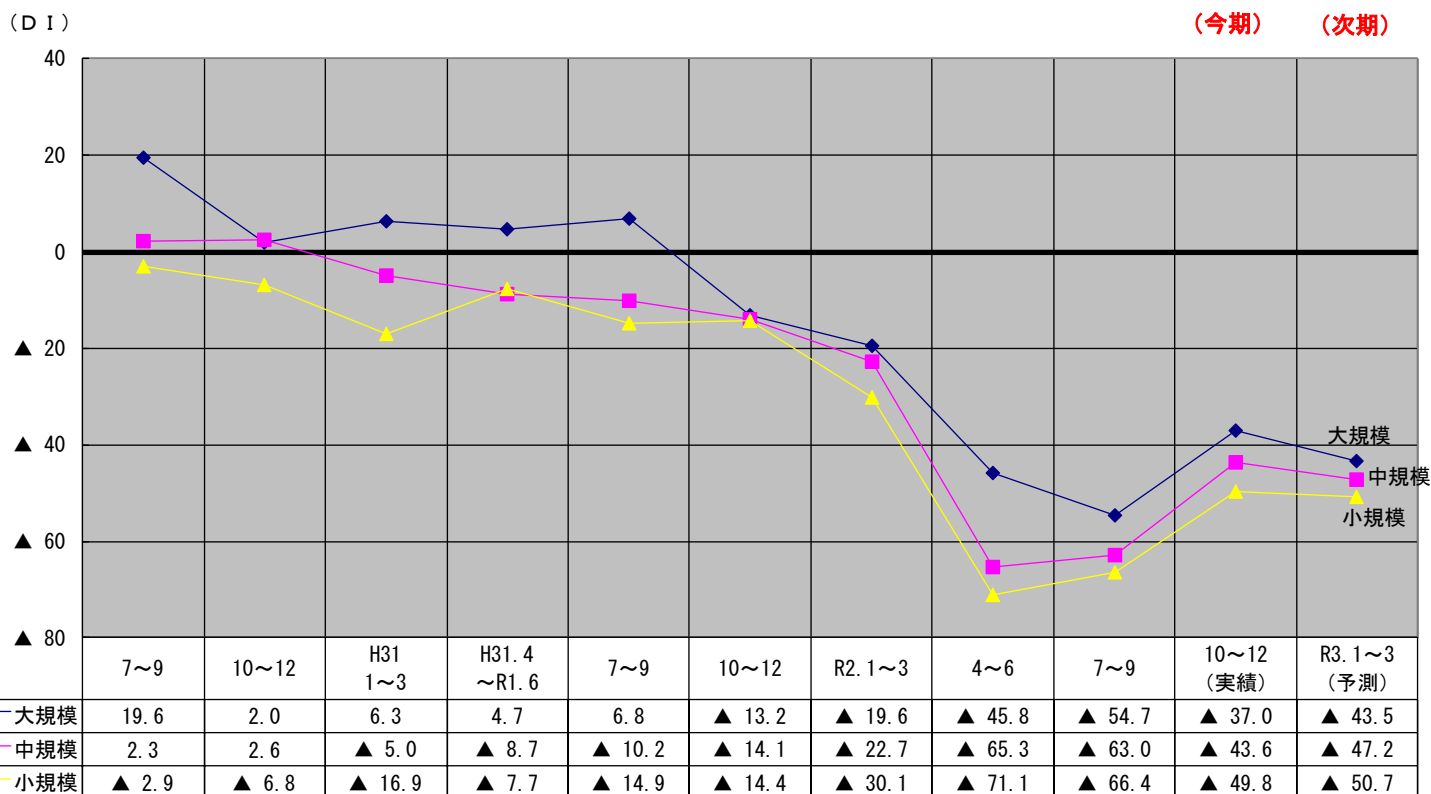
・すべての規模で改善。中規模企業は 19.4 ポイント改善。

<次期予測> (1-3 月期)

・小規模企業は横ばい、大規模企業と中規模企業は悪化を予測。

引き続きすべての規模で大幅なマイナス水準。

(今期) (次期)



	9月調査時の 10~12月期予測	10~12月期実績
大規模	▲ 52.8	▲ 37.0
中規模	▲ 54.2	▲ 43.6
小規模	▲ 62.2	▲ 49.8

経常利益DI

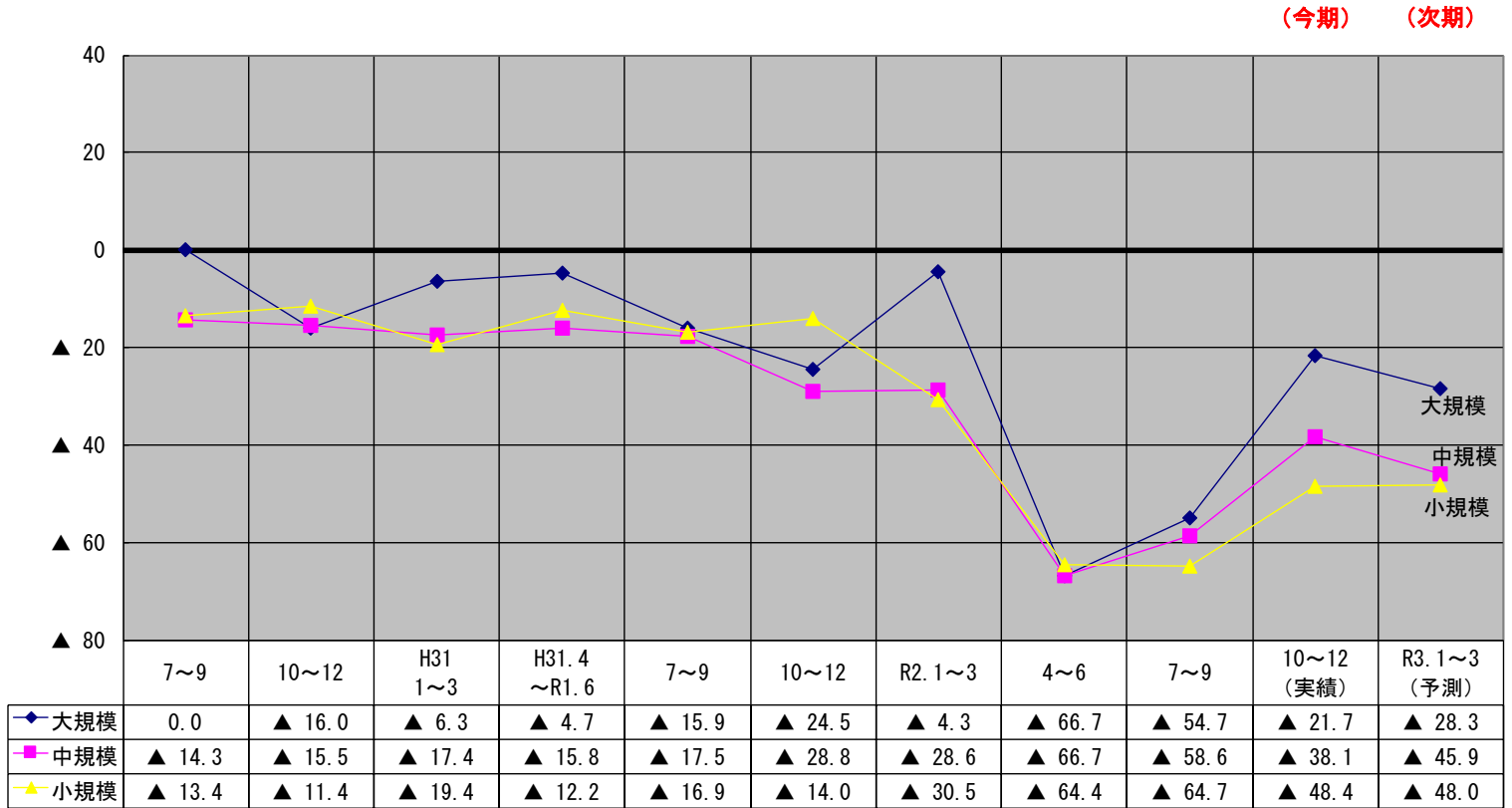
<今期実績> (10-12 月期)

・すべての規模で改善。大規模企業は 33.0 ポイント、中規模企業は 20.5 ポイント改善。

<次期予測> (1-3 月期)

・大規模企業、中規模企業は悪化、小規模企業は横ばいを予測。
引き続きすべての規模で大幅なマイナス水準。

(D I)



	9月調査時の 10~12月期予測	10~12月期実績
大規模	▲ 52.8	▲ 21.7
中規模	▲ 56.4	▲ 38.1
小規模	▲ 64.7	▲ 48.4

その他項目 DI の動向

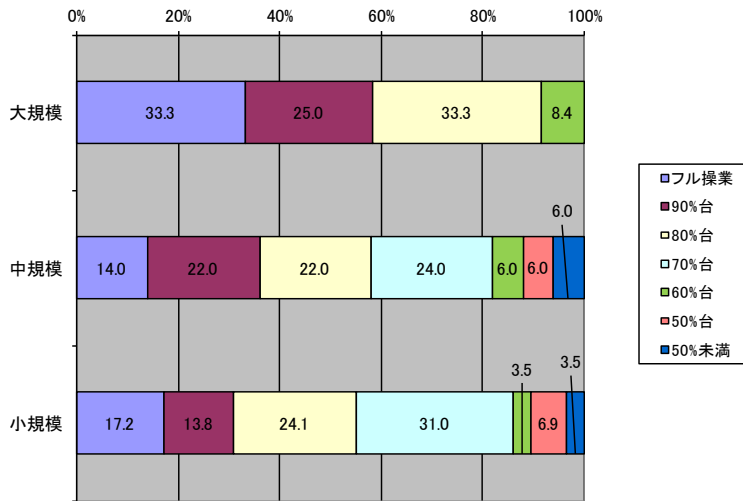
	H31年	H31年4 R1年5~6	R1年		R2年				R3年
	1~3		7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12 (実績)	1~3 (予測)
① 販売価格・ 受注単価 (「改善」-「悪化」)	4.3	3.3	2.9	0.6	▲5.9	▲ 21.9	▲ 21.7	▲ 16.6	▲ 16.6
② 資金繰り (「楽」-「苦しい」)	7.0	9.0	7.1	6.9	4.4	▲ 13.9	▲ 8.5	▲ 3.2	▲ 4.2
③ 借入難易度 (「容易」-「困難」)	23.8	24.0	23.2	22.1	21.8	20.9	22.8	21.3	18.0
④ 設備投資 (「増加」-「減少」)	▲2.2	▲1.1	1.6	▲5.3	▲6.5	▲ 27.1	▲ 22.5	▲ 24.9	▲ 25.6
⑤ 雇用 (「過剰」-「不足」)	▲50.9	▲46.3	▲44.1	▲45.9	▲ 42.2	▲ 15.9	▲ 17.1	▲ 23.7	▲ 24.4
⑥ 在庫 (「過剰」-「不足」)	4.8	7.4	8.8	7.7	5.8	4.2	4.7	3.6	3.1
⑦ 所定外労働時間 (「増加」-「減少」)	▲4.3	▲9.8	▲14.3	▲10.2	▲13.7	▲ 43.2	▲ 40.1	▲ 25.1	▲ 26.1

- ① 「販売価格・受注単価」……前期から改善。次期は横ばいと予測。
- ② 「資金繰り」……前期から改善しているがマイナス水準。次期は若干苦しくなる見込み。
- ③ 「借入難易度」……大きな変化はなし。
- ④ 「設備投資」……若干の減少。次期もほぼ横ばいを予測。
- ⑤ 「雇用」……徐々に人手不足感が高まっている。
- ⑥ 「在庫」(製造業・卸売業・小売業のみ回答)……前期より減少。
- ⑦ 「所定外労働時間」……15ポイント減少。引き続きマイナス水準。

製造業操業度

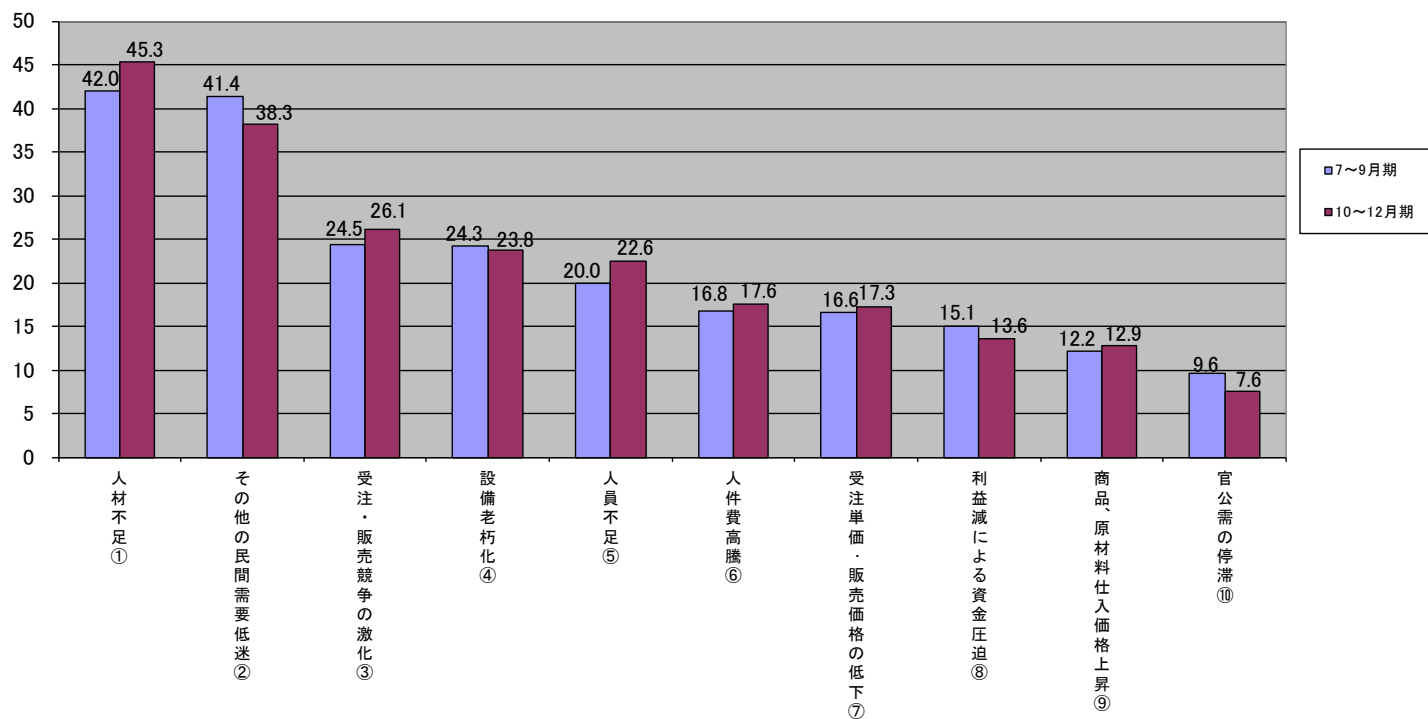
10~12月
(実績)

1~3月
(予測)



経営上の問題点上位10項目(複数回答)

(%)



※項目の後の数字は前回調査結果の順位

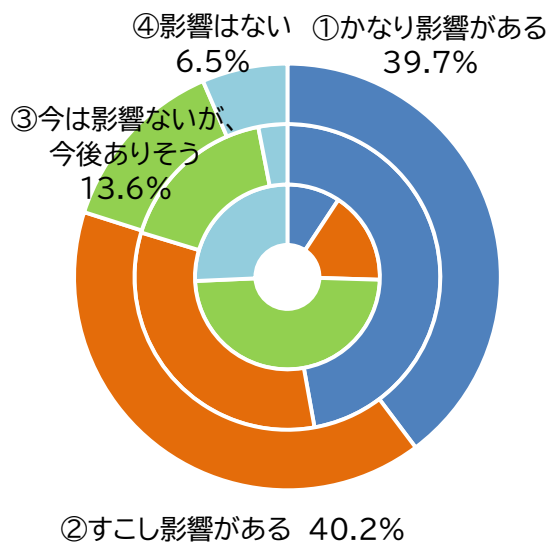
企業の声

- 新型コロナウイルスが去っても社会は変化してしまっており、受注は以前の8割程度にしか戻らないと思っている。残りの2割は新たな創造で需要を作り出さなければと考えている。【製造業（建材・木・紙製品）・中規模】
- コロナ禍で駅・空港のお土産需要が減少。中・小規模スーパー向けの売上は好調だが、単価が低いため前年並みの利益確保は難しい。【製造業（飲食料品）・小規模】
- 減少していた製造業の取引先からの受注が増えつつある。【卸売業（金属製品・機械）・中規模】
- 新型コロナウイルスの影響でテレワークなどが増えたため、主力商品であるコピー用品や事務用機器の受注数が大きく減少。一方で、官庁関連からコロナ対策商材の受注が増加している。【卸売業（文具・事務用品）・中規模】
- 新型コロナウイルスの影響により、百貨店向けの販売数が減少。また、コロナ禍でお中元やお歳暮を控える傾向により、受注が減少。【卸売業（飲食料品）・小規模】
- GoToキャンペーンやプレミアム商品券の効果もあり売上が前年同期比の9割弱まで回復しているが第三波を懸念。【小売業（デパート・スーパー）・中規模】
- 客単価は変わらないが、来店客数の減少が止まらない。【小売業（飲食料品）・中規模】
- 新型コロナウイルスによる落ち込みが10月頃から回復傾向にある。【運輸業（海運業）・中規模】
- 忘年会・新年会の中止による客数減が懸念される。【運輸業（旅客運送）・中規模】
- イベント関連は、回復の兆しがあったが、年末に向け新型コロナウイルス感染者の増加により、売上が減少している。【サービス業（その他のサービス業）・小規模】
- 宿泊部門は回復傾向だが、宴会・婚礼部門は依然として厳しい状況。【サービス業（旅館・ホテル）・小規模】
- 取引先がテレワークを導入したことにより新規営業・交渉がし辛い。取引先の事業の実施について未確定の部分が多く、今後の計画を立てにくい。【建設業（総合建設）・大規模】
- 例年受注がある年度末の公共工事がほとんどない。【建設業（その他の建設業）・小規模】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響調査結果【付帯調査】

■回答数 464社(前回5月調査時 458社) ※(1)の回答は463社
 ■調査期間 令和2年11月24日(火)~12月11日(金)

(1)新型コロナウイルス感染症拡大による経営への影響



〔上段:回答数、下段:割合〕

回 答	2月	5月	11月【今回】	前回比
①かなり影響がある	43 9.3%	216 47.2%	184 39.7%	ā ž * ! (
②すこし影響がある	75 16.2%	149 32.5%	186 40.2%	ā ~ * ! *
③今は影響ないが、今後ありそう	226 48.8%	79 17.2%	63 13.6%	ā ž & !)
④影響はない	119 25.7%	14 3.1%	30 6.5%	ā ~ & ! '
計	463	458	463	

※円グラフの内側から2月、5月、今回(11月)の調査時

(2)対前年同月比の売上高

〔上段:回答数、下段:割合〕

回 答	4月or5月	10月or11月【今回】
①増加	28 6.1%	55 11.8%
②横ばい	90 19.7%	139 30.0%
③減少(30%未満)	138 30.1%	187 40.3%
④減少(30~50%未満)	76 16.6%	59 12.7%
⑤減少(50~80%未満)	67 14.6%	18 3.9%
⑥減少(80%以上)	58 12.7%	5 1.1%
⑦不明	1 0.2%	1 0.2%
計	458	464

(3)『半年前』と比べた景況感

〔上段:回答数、下段:割合〕

回 答	11月【今回】
①好転(改善)	98 21.1%
②悪化	161 34.7%
③変化なし	205 44.2%
計	464